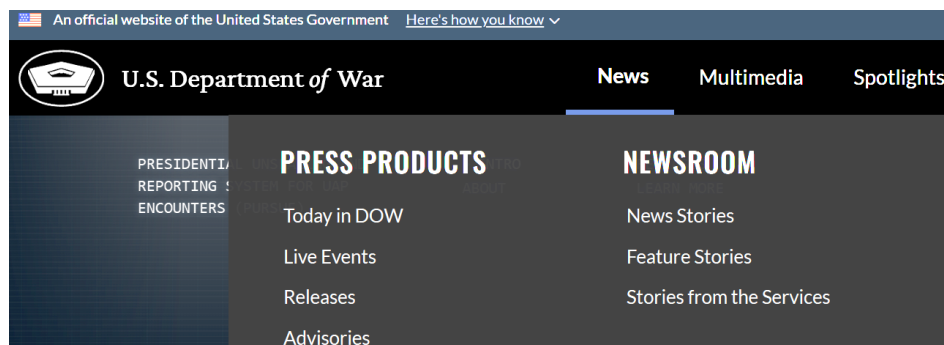


「UFO ファイル公開」と「反重力」

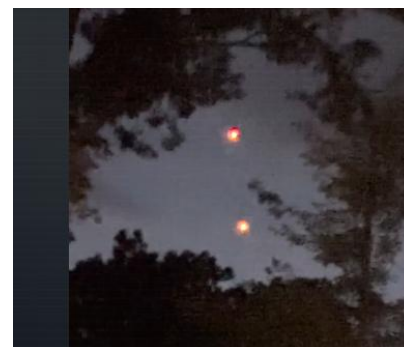
①米国防総省、UFO 資料 162 件を一挙公開 月面に浮かぶ 3 つの光 宮野宏樹 2026.5.9

米国防省 (U.S.Department of War) のホームページを検索



FBI-UAP-PR004, "Northeastern Orb Sighting," 2025

In July 2025, at approximately 2100 local time in the northeastern United States, an eyewitness observed an intense bright light in their backyard as they parked their car upon returning home from work. The light was hovering approximately 25 feet off the ground, below a tree line near the center of their backyard, at an estimated distance of 90 feet. The eyewitness exited their vehicle briefly before retrieving their phone to record the event.



2026 年 5 月 8 日、米国防総省(「Department of War」)は、新設の専用サイト「war.gov/UFO」を立ち上げ、PDF120 本、動画 28 本、画像 14 枚から成る合計 162 件の未確認異常現象(UAP)関連資料を一挙公開しました。

1972 年のアポロ 17 号が月面で撮影した「三角形に並ぶ 3 つの発光体」、2024 年にインド太平洋軍が日本周辺で捉えた「フットボール状の物体」、1947 年から続く FBI の「フライング・ディスク」事案ファイル。半世紀以上にわたって機密扱いされてきた資料群が誰でも閲覧できる形で、初めて姿を現した。

今年 5 月 8 日の専用サイト開設以来、サイトへのアクセス数は全世界で 17 億回を突破しており、UFO 関連機密ファイルへの関心は過去最高潮に達している。

トランプ大統領は自身の SNS である Truth Social で、今回の公開について「一体全体何が起きているのか、人々が自分で判断できるようにするためだ」と投稿。「楽しんでくれ！」と締めくくった。

② 元米政府研究者「墜落したUFOから4種類の宇宙人種を回収」 2026 年 5 月 17 日 11:10

[元米政府研究者「墜落したUFOから4種類の宇宙人種を回収」 | 東スポ WEB](#)

エリック・デイビス博士は昨年、「UAP・ディスクロージャー・ファンド」の会合で、墜落したUFOの残骸から「グレイ」「ノルディック」「インセクトイド」「レプティリアン」を回収したと主張した。

デイビス氏によれば、これらの宇宙人はいずれも腕2本、脚2本を持ち、人型の外見をしているという。レプティリアンとノルディックはいずれも人間サイズで、身長はおよそ6フィート（約183センチ）だという。

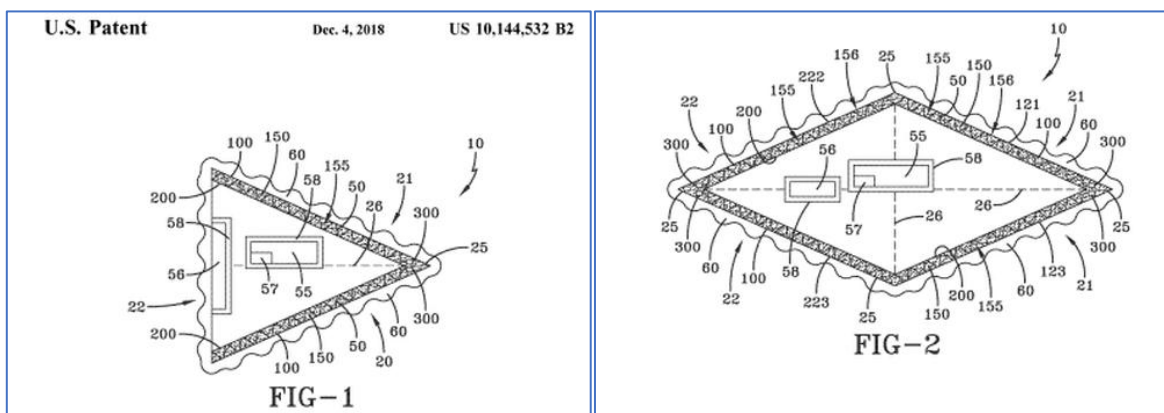
③「月から“何か”が飛び去った…」“UFO 機密映像”の衝撃- Yahoo!ニュース 2026.5.19



イメージ図

④ 反重力装置は米海軍が 2018 年 12 月に特許取得している

アメリカ海軍が公開した特許で、三角型の航空機が「慣性質量低減装置」を使って重力波を発生させ、「極めて高速」で移動する。また、「水、空気、さらには宇宙」でも使用できるハイブリッド機でもある。: r/Futurology

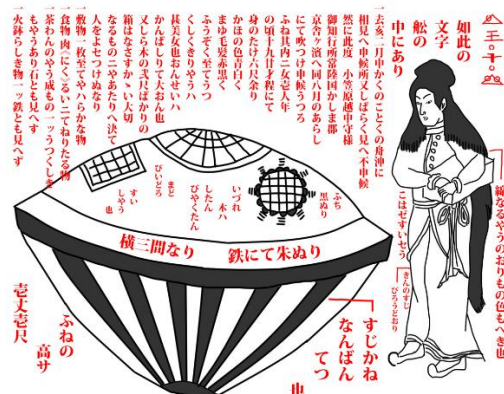


TR-3B 機



The "TR-3B ASTRA", a rumored top-secret, anti-gravity reconnaissance aircraft developed under a Black project.

⑤ うつろぶね(虚ろ舟)～江戸時代の文書にも詳細な記録が



江戸時代には、全国各地に似たような「うつろぶね」伝承があった。

中里村（現埼玉県久喜市）の名主を務めた岡田家に伝わった約 4,900 点に及ぶ古文書の「小笠原越中守知行流来候空船之図」に、謎の舟として「うつろぶね」が描かれています。

この「うつろぶね」は日本の浜辺に漂着したという記録が残っています。享和 3 年(1803)2 月に常陸国（現在の茨城県の南西部を除いた地域）の浜辺に漂着したものが特に有名です。舟にはガラスの窓があり松脂が塗られ、奇妙な文字も書かれていたとされています。

⑥ 空を飛んだ昆虫学者 グレベニコフ博士(ロシア)

出所:『反重力を今に解き放て!』ケイ・ミズモリ著 ヒカルランド 210-212 頁

1990 年グレベニコフ博士は昆虫の外骨格を用いて写真のような空飛ぶプラットフォームなる反重力飛行装置を作り出した。博士によるとプラットフォームのフォース・フィールドが周囲の空間を上向きに切り取ると同時に、地球の引力とも切り離し不可視の円筒形状空間を作り出す。

しかし彼自身と周囲の空気はそのままの切り取られた円筒形の空気内に留まっている。それによって自分が視覚されなくなることが起こるのだらうと、彼は考えた。

視覚性に関しては、あえて人に近づいて、自分が目撃されるかどうかを何度も試している。

ほとんどの場合、プラットフォームと彼自身の影も投射されず、彼が気づかれることはなかったのである。

水守啓：(一社) 共振科学研究所代表

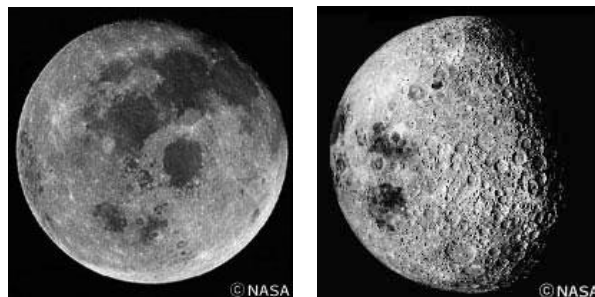


次のテーマは「月」

Q1 1969 年 7 月 16 日は本当に「人類が月面に降り立った日」なのか？



Q2 なぜ、月の裏側は見えないのか

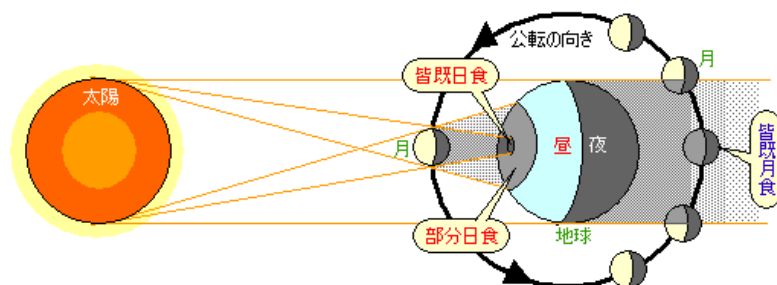


(写真 左：表側、右：裏側)

[JAXA | もっと知りたい！ 「月」ってナンだ!?](#)

☞ 地球の衛星である月は、地球のまわりを 1 公転する間に、1 自転します。自転も公転と同じ 27.32 日の周期のため、地球からはいつも同じ面しか見ることができません。

<地球と月と太陽の位置関係>



地球と月の距離 38 万 km、地球と太陽の距離 1 億 5000 万 km ☞ 月 38 万 km × 4 倍 = 1 億 5200 km